

# 予算特別委員会

平成30年3月14日

## 1 議案審査

- (1) 議案第2号 平成30年度千代田区一般会計予算
- (2) 議案第3号 平成30年度千代田区国民健康保険事業会計予算
- (3) 議案第4号 平成30年度千代田区介護保険特別会計予算
- (4) 議案第5号 平成30年度千代田区後期高齢者医療特別会計予算

平成29年度当初予算への附帯決議に対する平成30年度予算計上状況一覧

予算特別委員会  
追加資料8  
平成30年3月14日

| No | 決議内容  | 主要施策の成果における課題   | 行政評価における意見 | 平成29年度における検討状況・対応状況<br>予算要求にあたっての考え方 等  | 最終的な予算計上の考え方  | 平成30年度予算<br>(単位:千円)                        |
|----|---|---|------------|---|---|--|
| 1  | 九段中等教育学校の校舎、校庭などについては、生徒にとってより良い教育環境を実現するため、調査・検討を行うこと。<br>その際は、学校関係者の意見を十分に聴取するとともに適宜適切に区議会へ報告すること | —   | —          | ○4月以降、保護者会、学校経営評議会、PA役員会などで状況を説明し、意見を伺っています。<br>○9月8日子育て文教委員会の陳情審査の際に、保護者等への説明状況を報告し、報告が遅れたことをお詫びしました。<br>○11月8日 校長、副校長、室長と打ち合わせを行いました。<br>○12月2日のPA実行委員会にて経緯説明とお詫び、校舎の接続について説明しました。今後も話し合いを進めていきます。  | ○関係者と協議中のため、予算計上は見送ることとします。   | 予算措置無し                                     |
| 2  | 箱根千代田荘については、活用策を調査すると共に、代替施設を見直しすること  | ○指定宿泊施設事業を利用するための「指定宿泊施設利用カード」作成人数は順調に増えているものの、指定宿泊施設利用実績の増加に結びついていないことが課題です。 | —          | ○低未利用区有施設等検討会軽井沢少年自然の家・旧箱根千代田荘利活用検討部会(構成員:政策経営部長、子ども総務課長、コミュニティ総務課長、区有施設担当課長、企画課長、政策担当課長、施設経営課長)を8月16日、12月27日及び2月15日に開催し、今までの経緯や課題等を調査、整理しています。具体的には、施設の劣化状況調査、地域需要等のマーケティング調査、利活用方法の比較検討、検討案(タタキ台)の作成等を行っています。<br>○検討にあたっての視点や体制について、6月15日の福祉施設整備特別委員会に報告しました。<br>○庁内需要調査結果やコンサルティング会社を活用して検討を進めていくことについて、10月6日の福祉施設整備特別委員会に報告しました。<br>○コンサルティング会社の決定について、12月4日の福祉施設整備特別委員会に報告しました。<br>○市場調査結果や箱根町へのヒアリング調査結果の状況、今後の進め方等について、3月9日の福祉施設整備特別委員会に報告しました。<br>○平成30年度は学識経験者や区民等含めた検討会を設置し、活用の方向性を検討します。活用の方向性が定まり次第、事業者選定を実施します。<br>○代替施設である指定宿泊施設事業(平成32年度末までの経過措置)の見直しについては、7月に区民代表を委員とする指定宿泊施設候補選定委員会を設置しました。<br>○選定委員会での2回(7月及び9月)の議論と現地確認を経て、2施設の見直し(現行施設の廃止、新規施設の選定)を決定しました。<br>○決定内容については9月11日の地域保健福祉委員会に報告し、区民への周知は広報千代田9月20日号や区HPで行いました。<br>○10月1日から新規施設への予約及び利用を開始しました。 | ○平成30年度は、庁内の検討結果を踏まえ、区民や外部専門家など幅広く意見を聞きながら、多様な視点で活用策を検討し、施設の活用に向けた取組みを進めていきます。<br>○代替施設である指定宿泊施設の見直しは平成29年度に実施済みで、平成30年度も継続実施します。 | 低未利用区有財産活用調査検討34,402<br>区民宿泊助成(箱根地区)21,223 |
| 3  | 軽井沢少年自然の家については、活用策を調査すること   | —   | —          | ○低未利用区有施設等検討会軽井沢少年自然の家・旧箱根千代田荘利活用検討部会(構成員は同上)を8月16日、12月27日及び2月15日に開催し、今までの経緯や課題等を調査、整理しています。具体的には、施設の劣化状況調査、地域需要等のマーケティング調査、利活用方法の比較検討、検討案(タタキ台)の作成等を行っています。<br>○検討にあたっての視点や体制について、6月15日の福祉施設整備特別委員会に報告しました。<br>○庁内需要調査結果や軽井沢町へのヒアリング調査結果、コンサルティング会社を活用して検討を進めていくことについて、10月6日の福祉施設整備特別委員会に報告しました。<br>○コンサルティング会社の決定について、12月4日の福祉施設整備特別委員会に報告しました。<br>○市場調査結果や教育委員会へのヒアリング調査結果の状況等について、3月9日の福祉施設整備特別委員会に報告しました。<br>○平成30年度は学識経験者や区民等含めた検討会を設置し、活用の方向性を検討します。活用の方向性が定まり次第、事業者選定を実施します。  | ○平成30年度は、庁内の検討結果を踏まえ、区民や外部専門家など幅広く意見を聞きながら、多様な視点で活用策を検討し、施設の活用に向けた取組みを進めていきます。  | 低未利用区有財産活用調査検討34,402                       |

| No | 決議内容  | 主要施策の成果における課題  | 行政評価における意見  | 平成29年度における検討状況・対応状況<br>予算要求にあたっての考え方 等   | 最終的な予算計上の考え方  | 平成30年度予算<br>(単位:千円)                           |
|----|---|--|---|--|---|---|
| 4  | 居宅訪問型保育事業(ベビーシッター制度)に交通費の助成を加えること                           | ○居宅訪問型保育事業は、待機児童や、集団保育が難しい児童に保育を実施しています。新園の開設などで定員を拡大したことにより、想定より対象者が少なくなりましたが、待機児童ゼロを維持することに効果を上げています。                                  | —   | ○運営事業者及び利用者より意見を聞き、利用者からの要望もあり、また運営事業者の理解も得られたため、平成29年度より交通費の助成を実施済みです。  | ○平成30年度も継続実施します。  | 居宅訪問型保育事業<br>423,029<br>(うち、交通費助成分<br>12,000) |
| 5  | 区内私立保育園の保育士に奨学金制度を創設すること                                    | —  | —   | ○区内私立保育所の事業者より奨学金制度について意見を聞き、東京都社会福祉協議会、東京都育英資金、あしなが育英会など、奨学金については充実しています。<br>○平成30年度予算から、区内私立保育施設に勤務する保育士が返済している奨学金の返済支援補助事業を実施します。   | ○区内の私立保育施設で保育士として就業中の方の奨学金の返済を支援することで、区内の保育施設が保育士を確保しやすくし、保育の質の向上に繋げていきます。  | 保育士奨学金返済支援助<br>成21,600                        |
| 6  | 外濠公園総合グラウンド整備にあたっては、十分に利用者の意見を聴取し反映すること                     | ○外濠公園総合グラウンドについては、雨天及びグラウンドコンディション不良による中止や芝生養生のための冬期休場により、年間を通じて約150日が利用できない状態にあります。今後は、利用者の意見を十分に踏まえ、利用可能な日数を増やし、多目的に利用可能な改修を行うことが必要です。 | —   | ○平成29年9月22日に東京都教育庁に対し、史跡に対する整備内容を説明のうえ、文化庁への協議不用の旨を確認しました。<br>○利用団体等のヒアリングを実施しました。<br>・通 年 庁内関係部署に対するヒアリング<br>・H29.9.30 ゲートボール協会に対するヒアリング<br>・H30.1.11 少年野球連盟に対するヒアリング<br>○平成30年度は、通年利用や多目的利用など区民がスポーツに親しめる環境を高めるための取組みを行うとともに、老朽化した管理棟についても環境に配慮した補修工事を実施します。   | ○利用団体へ意見聴取を引き続き行いながら、グラウンドの通年利用や多目的利用など区民がスポーツに親しめる環境を高めるため、関係機関や各利用団体との協議・調整を行い、整備に向け取り組んでいきます。<br>○経年により老朽化した管理棟についても、太陽光パネルや伐採木の活用、LED化をはじめとする省エネ電化等の環境に配慮した補修工事を実施します。  | 外濠公園総合グラウンド整備<br>200,000                      |
| 7  | 北の丸公園周辺地域整備の推進については、北の丸公園周辺まちづくり基本構想を地域・区議会との確認の上、設計に着手すること | —  | ○予算上、水辺空間や公園整備といったハード部分の比重が大きいと思われるため、その整備の進捗に関する指標というものは必要ではないか。 | ○基本構想(素案)のパブリックコメントを4月～5月にかけて実施しました。<br>○九段坂公園整備地元協議会(第1回 H29.5.29 第2回 H29.6.13)、地元説明会(H29.7.24)を開催しました。<br>○オリパラ特別委員会(H29.6.16 / H29.10.5)、企画総務委員会(H29.6.20 / H29.7.20)で基本構想案の説明や地元協議会との検討状況等について報告しました。<br>○基本構想の内容、地元協議会との検討経緯等をホームページに公開しました。<br>○九段坂公園整備基本・実施設計の委託契約を8月に締結しました。<br>○代官町通りの工事契約議案は平成29年四定で提出・可決し、12月に契約締結しました。<br>○平成30年度予算は、代官町通り及び九段坂公園各工事費を計上します。 | ○競技会場となる日本武道館を抱える北の丸公園周辺地域は、九段坂公園、旧麴町消防署九段出張所跡地、千鳥ヶ淵緑道、代官町通りなど、区が主体的に整備できる施設に囲まれていることから、施設の整備、利用を区が先導して進め、ハード、ソフト両面で「オリンピック・レガシー」の創造を図ります。<br>○平成30年度は、引き続き代官町通りの工事及び九段坂公園の設計・工事を実施し、北の丸公園を取り巻く豊かな自然環境、時代を重ねた景観、潤いある水辺空間など、この地域の魅力を踏まえた取組みを進めていきます。 | 北の丸公園周辺地域整備<br>の推進867,920                     |

| No | 決議内容   | 主要施策の成果における課題   | 行政評価における意見  | 平成29年度における検討状況・対応状況<br>予算要求にあたっての考え方 等   | 最終的な予算計上の考え方   | 平成30年度予算<br>(単位:千円)                                 |
|----|--|---|---|--|--|---|
| 8  | (仮称)外神田一丁目公共施設整備については、平成29年秋を目途に再点検をすること                             | ○(仮称)外神田一丁目公共施設は、地域の結末点に位置しているため、地域特性を踏まえた施設としていくことが必要です。   | ○万世橋出張所・区民館の整備については、単なる集会施設ではなく、町会以外の人にも活動の機会が与えられるような施設の活用方法を検討してはどうか。 | ○東京国道事務所から「区の進めるまちづくりには今後とも協力するが、本移転先が決定していない現段階で、仮移転を決定することはできない。」ことを確認しました。<br>○建設協議会では「基本設計の地上8階建てを維持し、4～6階の3フロアは将来的に幅広い用途に柔軟に使えるようにしていく。」こととなりました。<br>○第3回定例会において、これらのことを再点検結果として報告し、引き続き実施設計を進めていきます。<br>○29当初予算で計上した経費は、30当初予算に打ち切り再計上します。   | ○万世橋出張所・区民館、子どもの施設、外郭団体の事務所等を主とする公共施設の建設工事に着手し、平成32年度の開設をめざします。  | (仮称)外神田一丁目公共施設整備332,509                             |
| 9  | (仮称)区立麴町仮住宅の整備及び四番町複合施設は、基本構想を地域・区議会との確認の上で十分に説明し、基本計画に着手すること        | ○<(仮称)区立麴町仮住宅の整備><br>旧千代田保健所解体工事については、事前調査によりアスベストが見つかったことから、工期を延長するため債務負担行為を設定し、平成29年8月に工事は完了しました。<br><br><四番町保育園・児童館等施設整備><br>隣接する四番町アパート等施設も含めた一体的な整備に向けて全庁横断的に取り組んでいく必要があります。 | —   | ○(仮称)四番町公共施設計画について、6月に地域の連合町会長及び町会長へ説明を行いました。<br>○四番町住宅・アパート居住者各戸に対し、8～9月は38世帯、12月～3月は47世帯に個別に説明を行いました。<br>○「(仮称)区立麴町仮住宅の整備」の債務負担行為(H29～31年度)及び(仮称)四番町公共施設基本設計の繰越明許は、3定補正予算に提案・可決しています。<br>○(仮称)区立麴町仮住宅新築工事契約議案は平成29年四定で提出・可決し、12月に契約締結しました。<br>○(仮称)四番町公共施設計画について、子ども部が平成30年2月に近隣の町会長、商店街、環境整備協議会、小学校PTAと意見交換を行いました。<br>○(仮称)四番町公共施設計画に関するアンケートを、子ども部が平成30年2月に四番町保育園・児童館・図書館の利用者、職員を対象に行いました。<br>○平成30年度予算は「(仮称)区立麴町仮住宅の整備」を計上します。(工事費の出来高分、工事監理委託料、事務費)<br>○平成30年度予算は「四番町保育園・児童館等の整備(実施設計)」を計上するとともに、平成30・31年度の債務負担行為を設定します。 | <(仮称)区立麴町仮住宅の整備><br>○平成30年度は、引き続き仮住宅の本体工事をすすめ、平成31年秋の竣工・開設をめざします。あわせて、仮住宅使用後の利活用等について、「旧千代田保健所麴町庁舎跡地利用検討協議会」において、地域の方のご意見などを踏まえながら検討を行います<br><br><四番町保育園・児童館等の整備><br>○四番町保育園・児童館等施設は築37年が経過し、設備全般の経年劣化や躯体の老朽化が進んでいるため、隣接する四番町図書館・四番町アパート等も含めた一体的な施設整備を検討しています。<br>平成30年夏までに基本設計を終了し、引き続き平成31年夏まで実施設計を行います。 | (仮称)区立麴町仮住宅の整備294,579(環)<br>四番町保育園・児童館等の整備41,900(子) |
| 10 | 区が主催又は助成する人間国宝関連事業については、平成29年度中に見直し、平成30年度からは伝統芸能を含む新たな事業を抜本的に検討すること | —   | —   | ○千代田区文化芸術事業検討会を設置し、文化芸術事業や伝統文化を区民へより広く発信していく方法を検討しました。(第1回8月3日、第2回8月24日、第3回8月30日、第4回9月15日、第5回10月17日)<br>○千代田区文化芸術事業検討会の設置及び検討結果については、地域保健福祉委員会に7月25日及び12月7日に報告しました。<br>○様々なジャンルの文化芸術事業を鑑賞出来るように事業の見直しを行いました。<br>○平成30年度は、普段鑑賞する機会の少ない分野の発信も視野に入れ、幅広い分野から事業展開します。<br>○区内の劇場や美術館等と連携し、共催事業を実施します。幅広い年齢層や多様なジャンルに対応した文化芸術鑑賞の機会を提供します。   | ○千代田区には、日本の有数の劇場や美術館等が集積しており、その特徴を活かして、区民がジャンルにとらわれない様々な文化芸術に触れる機会を提供していきます。<br>○区内のホール・劇場等の観劇鑑賞チケット割引販売制度を拡充するとともに、区内の文化イベントマップを作成し、区民へ広く情報提供し文化事業の発信が効果的に行われるよう努めていきます。  | 文化芸術鑑賞事業28,849                                      |